

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月14日

上場会社名 中野冷機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6411 URL <http://www.nakano-reiki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 順造
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 渡辺 基二 TEL 03-3455-1311
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	9,366	8.3	1,467	24.1	1,474	23.7	905	26.7
25年12月期第1四半期	8,648	△14.8	1,182	△16.3	1,191	△16.5	715	△11.4

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 778百万円 (△27.0%) 25年12月期第1四半期 1,067百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	125.62	-
25年12月期第1四半期	99.18	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	36,720	23,447	60.2	3,063.36
25年12月期	34,347	22,905	62.5	2,978.33

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 22,091百万円 25年12月期 21,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	30.00	30.00
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期(予想)	-	0.00	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,100	26.9	2,690	14.6	2,700	13.2	1,670	14.9	231.57
通期	38,300	20.7	4,190	11.3	4,230	10.0	2,600	10.1	360.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	8,954,000株	25年12月期	8,954,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	1,742,441株	25年12月期	1,742,341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	7,211,599株	25年12月期1Q	7,211,781株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待やそれに伴う株式市場の持ち直し、円安等による輸出環境の改善がみられ、企業収益の改善により景気は緩やかに回復しつつあります。

しかしながら、円安による輸入燃料、原材料価格の上昇等に対する懸念、あるいは消費税増税による消費の落ち込みに対する懸念等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要顧客である食品流通業界におきましても、個人消費について消費税増税前の駆け込み需要がありました。企業間での商品政策、店舗政策、価格政策等あらゆる面で差別化競争が続いており、増税後の消費の落ち込みも懸念され、厳しい経営が続いております。

ただし、一部スーパーマーケットには積極的に新規出店、店舗の改装等の設備投資を行う顧客もみられました。また、コンビニエンス・ストアの中には、積極的に新規出店を行い、また品揃えの拡充を図るために改装を行う顧客もみられました。

このようななか、当社グループは顧客の要望に対し、より柔軟でスピーディーに対応できるよう営業・生産体制を強化し、顧客満足度を向上させるべく努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間は、物流センター等の大型物件は低調な結果でしたが、スーパーマーケット向け売上が昨年の実績には及ばないものの堅調に、そして、コンビニエンス・ストア向けは、受注が好調に推移し、昨年の業績を上回る売上を計上できました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は93億66百万円(前年同期比7億18百万円、8.3%増)、経常利益は14億74百万円(前年同期比2億82百万円、23.7%増)、四半期純利益は9億5百万円(前年同期比1億90百万円、26.7%増)となりました。

なお、当社グループの事業は食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造・販売並びにこれらの付随業務からなる単一セグメントであるため、セグメント情報の記載をしておりますが、所在地別の業績の概況は次のとおりであります。

①日本

国内の売上高は、コンビニエンス・ストア向け売上が好調に推移した結果、昨年の業績を上回る88億75百万円(前年同期比6億92百万円、8.5%増)となり、営業利益は14億67百万円(前年同期比2億95百万円、25.2%増)となりました。

②中国

中国では、昨年に引き続き、中国国内向け販売は景気の下振れ等により顧客であるスーパーマーケットの店舗改装、新規出店等が低調なため厳しい競争に晒され、売上高は昨年並みを確保できましたが、利益の面では厳しい状況が続きました。その結果、売上高は5億47百万円(前年同期比40百万円、7.9%増)となり、営業損失0百万円(前年同期は10百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は367億20百万円(前連結会計年度末は343億47百万円)となりました。流動資産は317億54百万円(前連結会計年度末は293億5百万円)となり、固定資産は49億66百万円(前連結会計年度末は50億41百万円)となりました。流動資産が大きく増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比14億26百万円増加したこと、現金及び預金が前連結会計年度末比5億76百万円増加したことなどによります。

一方、負債の部は132億73百万円(前連結会計年度末は114億42百万円)となりました。流動負債は102億38百万円(前連結会計年度末は83億30百万円)となり、固定負債は、30億35百万円(前連結会計年度末は31億11百万円)となりました。流動負債が大きく増加した主な要因は、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末比10億86百万円増加したこと及び未払法人税等が前連結会計年度末比4億90百万円増加したことなどによります。

純資産の部は234億47百万円(前連結会計年度末は229億5百万円)となりました。この結果、自己資本比率は、60.2%(前連結会計年度末は62.5%)となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主要顧客である食品流通業界の今後の見通しにつきましては、個人消費について消費税増税前の駆け込み需要があり、また増税後の消費の落ち込みも限定的であるとの見方もありますが、企業間ではあらゆる面で差別化競争が続いており、厳しい経営が続くと思われまので、新規出店、店舗改装等の設備投資も慎重になるであろうと予想しております。このような状況ですが、当社グループでは前回発表いたしました業績予想通りにコンビニエンス・ストアからの受注が好調なため、第2四半期連結会計期間以降の業績も好調に推移すると見込んでおります。

従いまして、現時点におきましては、平成26年2月13日付「平成25年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に掲載いたしました業績予想数値を据え置きといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,834,788	22,411,605
受取手形及び売掛金	4,627,812	6,054,322
電子記録債権	325,449	15,029
商品及び製品	998,239	1,455,028
仕掛品	292,716	331,590
原材料及び貯蔵品	735,613	929,117
繰延税金資産	115,643	117,990
その他	381,081	440,569
貸倒引当金	△5,376	△650
流動資産合計	29,305,967	31,754,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,147,881	4,101,599
減価償却累計額	△3,267,082	△3,254,988
建物及び構築物(純額)	880,799	846,610
機械装置及び運搬具	2,838,717	2,823,168
減価償却累計額	△2,348,234	△2,334,521
機械装置及び運搬具(純額)	490,483	488,646
土地	1,106,654	1,106,654
建設仮勘定	17,180	12,673
その他	659,314	656,300
減価償却累計額	△609,556	△609,443
その他(純額)	49,757	46,857
有形固定資産合計	2,544,875	2,501,442
無形固定資産		
土地使用権	291,493	278,626
その他	67,370	69,140
無形固定資産合計	358,864	347,766
投資その他の資産		
投資有価証券	1,445,519	1,418,580
長期前払費用	920	800
繰延税金資産	615,930	624,206
その他	124,766	120,924
貸倒引当金	△49,222	△47,395
投資その他の資産合計	2,137,913	2,117,116
固定資産合計	5,041,653	4,966,325
資産合計	34,347,620	36,720,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,597,603	7,683,666
短期借入金	250,000	250,000
未払費用	870,429	1,097,458
未払法人税等	85,981	576,975
未払消費税等	17,397	87,945
賞与引当金	71,253	223,681
製品保証引当金	96,840	112,439
その他	340,730	205,841
流動負債合計	8,330,236	10,238,008
固定負債		
繰延税金負債	5,493	5,493
退職給付引当金	2,456,393	2,421,301
役員退職慰労引当金	268,840	225,582
その他	381,137	383,183
固定負債合計	3,111,865	3,035,561
負債合計	11,442,102	13,273,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,650	822,650
資本剰余金	522,058	522,058
利益剰余金	20,904,441	21,594,002
自己株式	△1,616,279	△1,616,512
株主資本合計	20,632,871	21,322,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,915	430,160
為替換算調整勘定	394,892	339,233
その他の包括利益累計額合計	845,807	769,393
少数株主持分	1,426,839	1,355,764
純資産合計	22,905,518	23,447,357
負債純資産合計	34,347,620	36,720,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	8,648,291	9,366,942
売上原価	6,947,436	7,380,431
売上総利益	1,700,854	1,986,511
販売費及び一般管理費	518,004	518,796
営業利益	1,182,850	1,467,715
営業外収益		
受取利息	7,104	5,018
仕入割引	1,277	1,176
受取地代家賃	731	781
その他	1,899	1,568
営業外収益合計	11,014	8,545
営業外費用		
支払利息	1,738	1,742
売上割引	737	473
営業外費用合計	2,476	2,216
経常利益	1,191,387	1,474,044
特別損失		
固定資産除却損	1,185	378
固定資産売却損	2	134
減損損失	143	—
特別損失合計	1,332	512
税金等調整前四半期純利益	1,190,055	1,473,531
法人税等	468,629	567,084
少数株主損益調整前四半期純利益	721,426	906,447
少数株主利益	6,163	536
四半期純利益	715,262	905,910

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	721,426	906,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,899	△20,754
為替換算調整勘定	243,196	△106,810
その他の包括利益合計	346,095	△127,565
四半期包括利益	1,067,522	778,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944,891	829,496
少数株主に係る四半期包括利益	122,630	△50,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）

当社グループの事業は、食品店舗向けの冷凍・冷蔵ショーケース等の製造、販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。